



# 新しい日田の 森林・林業・木材産業振興ビジョン



令和2年度  
取組内容

# 「日田もりビジョン」に掲げる 日田市が目指す森林・林業・木材産業



3つの施策に分けそれぞれに目指す方向性を提示

施策体系	目指す方向性
(1) <u>森林(もり)を守り・育てる</u> (森林、林業に関わる部分)	森林の多面的機能を将来にわたって享受できるように、森林の適正な整備、保全を目指す
(2) <u>森林(もり)を活かす</u> (木材産業に関わる部分)	日田材のブランド化を進め、素材生産から製材、流通、住宅等が一体となった、生産・販売の拡大を目指す
(3) <u>森林(もり)でつながる</u> (木育や市民協働、地域活性化、人材育成など)	積極的に「森や木」に関わってもらえるような体制づくりと森林・林業・木材産業を担う人材の育成を目指す



# (1) 森林(もり)を守り・育てる

## ① 多面的機能を発揮する豊かな森林づくり

- 水郷日田の森林づくり ● 災害に強い森林づくり ● 市有林の活用

### 【R2年度実績】 ・ 新流木被害防止森林整備事業 (倒木・流木除去) 19,081 【重点施策】



流木被害対策

⇒平成29年7月九州北部豪雨や平成30年豪雨の際に、手つかずの流木が河川内や林地内の溪流に流出している流木等を素材生産事業者等が所有する高性能林業機械等を駆使し、倒木や流木を除去。(旧市内: 5箇所、旧郡部: 11箇所)

### ・ 流木被害緊急対策事業 (H29～溪流沿いの森林整備) 4,509 【重点施策】

⇒平成29年7月豪雨災害で被害の大きかった市北部を中心に、県と市が協調して流木被害対策を緊急的に実施。(市単独事業: 立木伐採0.79ha、広葉樹植栽等0.34ha)

### ・ 新森林機能強化対策事業 (危険木の伐採・除去) 3,250 (譲与税)

⇒公民館等の防災拠点の裏山にある危険木を、自治会等が森林組合等に委託して伐採・除去を行う場合に補助。(7箇所実施)

### ・ 市有林活用モデル事業 (H28～R2終了) 25,249

⇒市有林の主伐を進め、災害防除やバイオマス利用のための早生樹育成のモデル林等の整備主伐・再造林(植栽) 5.51ha(うち、早生樹・広葉樹0.90ha)、シカネット 2,225m

### 【R3年度】 ・ 新市有林多様な森づくり事業 (R3～) 22,425 【重点施策】

⇒市有林の主伐を進め、災害防除やバイオマス利用、早生樹・広葉樹等、多種多様な森づくり整備

施工前



森林機能強化対策  
(求町公民館周辺)

施工後



※R2年度は決算額、3年度は予算額(単位: 千円)

【重点施策】 =ビジョンの重点施策事業 以降同様



## ②持続可能な森林経営の推進

- 人工林の適正管理
- 施業・森林経営の集約化



**【R2年度実績】** ・ 森林整備総合対策事業（公共造林補助への上乗せ）87,559 **【重点施策】**  
(一部譲与税)

- ・ 森林経営管理推進事業（経営管理制度による森林整備）27,560 **【重点施策】**  
⇒従来の補助制度では適切な森林管理が困難な場合の森林整備。既存の航空レーザー計測データを活用し、樹木の位置・高さ・蓄積量等、森林資源解析(R1~2)等の実施など。 (譲与税)
- ・ 有害鳥獣被害防止対策（防護柵設置、捕獲報奨金等）58,221
- ・ 林道点検診断・保全整備事業 11,110  
⇒既設の林道のトンネルや橋梁等(31橋)の点検、診断及び健全性の評価を行うもの。
- ・ 林道巡視維持改善事業（林道パトロール、草刈り等）3,396 (譲与税)

**【R3年度】** ・ 林道作業道原材料支給事業（生コン等の支給）40,000 (譲与税)  
⇒支給作業道延長 5,300m (R2実績：5,055m)

- ・ 林道維持補修事業（林道の維持補修工事費等）28,640 (一部譲与税)



## ○施策体系別目標値（森林を守り・育てる）

指標名	基準値 (R元年度(次))	2年度(次) 上段:実績 (下段:目標)	3年度(次)	4年度(次)	目標値 (令和5年)	備考
1 再造林(植栽)面積	102.34ha	<b>220.28ha</b> (190ha)	195ha	200ha	<b>205ha</b>	累計
2 災害に強い森林 づくり整備面積	2.46ha	<b>3.69ha</b> (2.0ha)	2.0ha	2.0ha	<b>2.0ha</b>	累計
3 市有林活用モデル林整備 →多様な森づくり面積	3.9ha	<b>5.51ha</b> (8.0ha)	4.0ha	4.0ha	<b>4.0ha</b>	累計
4 シカによる農林産物の 被害額	8,037千円	<b>6,942千円</b> (7,724千円)	7,411千円	7,098千円	<b>7,098千円</b>	単年度
5 シカの捕獲数	2,098頭	<b>2,208頭</b> (1,700頭)	1,600頭	1,600頭	<b>1,600頭</b>	単年度
6 森林経営計画 認定率	80.2%	<b>80.7%</b> (81%)	81%	82%	<b>82%</b>	累計
7 作業道延長	1,100,461m	<b>1,202,557m</b> (1,200,000m)	1,300,000m	1,400,000m	<b>1,500,000m</b>	累計

## ○指標以外の目標

市有林の植栽において一貫作業システムやコンテナ苗の実証	市有林活用モデル事業から →市有林多様な森づくり事業へ見直し
森林経営管理制度の着実な実施	森林経営管理推進事業実施

## 活 (2) 森林 (もり) を活かす

### ① 素材 (丸太) の安定供給体制の整備

- 適正な素材 (丸太) 供給量の確保
- 素材 (丸太) 流通体制の強化

#### 【R2 年度実績】 ・ 森林整備総合対策事業 (公共造林補助への上乗せ) (再掲)

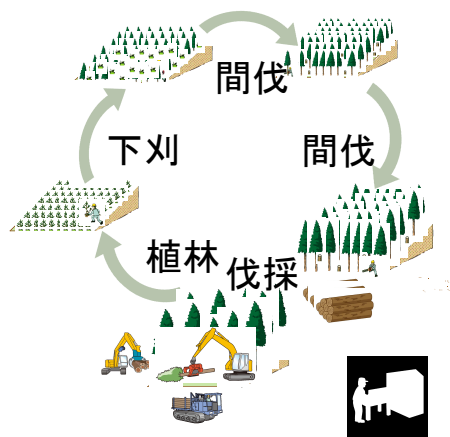
#### ・ 林業・木材産業構造改革事業 (選木機整備) 40,080

⇒ 木材加工流通施設等の原木流通施設整備に対し支援を行い、需要者ニーズに対応した木材製品の安定的・効率的な供給体制を構築

#### 【R3 年度】

#### ・ 木材加工施設災害復旧支援事業 (選木機整備) 77,034

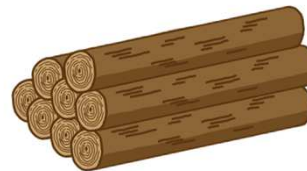
⇒ 令和2年7月豪雨災害により被災した原木流通施設の改良再整備に対し支援を行い、安定的な木材製品の供給体制に向けた取組



日田市内素材 (丸太) 生産量 ⇒ 平成28年次 340千 $m^3$  ↓

平成29年次 386千 $m^3$  ⇒ 平成30年次 349千 $m^3$  ↓

令和元年次 306千 $m^3$





## ②日田材の需要拡大・販売体制の強化

- 販路・販売拡大のための流通機能の強化 ● 地域一体となった日田材のブランド化

**【R2年度実績】・木づかい促進事業** (日田材・家具の支給) **81,983** **【重点施策】** ・災害分23件  
 ・家具22件



木づかい促進事業

		件数	請負代金 (千円)	全木材 使用料(m <sup>3</sup> )	日田材 使用料(m <sup>3</sup> )	日田材 使用率
住宅	新築	80	1,870,232	1,771	1,599	90.3%
	リフォーム	309	527,166	622	614	98.7%

- ・ **日田材普及啓発事業** (国内・海外流通対策) **2,199** **【重点施策】** (一部譲与税)
  - ・ おおいた材利用促進協議会(県・県内市町村設置)による都市部への需要拡大プロモーション活動等
  - ・ 構造材(530m<sup>3</sup>)のアメリカへの出荷助成



木の香る  
まちづくり事業

- ・ **木の香るまちづくり事業** **3,736** **【重点施策】** (譲与税)  
 (店舗リフォーム補助)

	件数	請負代金(千円)	日田材使用料(m <sup>3</sup> )
店舗リフォーム	13	52,379	17

うち福岡  
県内1件

- ・ **林業成長産業化地域創出モデル事業** **93,012** **【重点施策】**  
 (大径材の需要促進と地域の主力である無垢材の供給強化)  
 ⇒大径材の需要促進や無垢材の供給強化に必要な製材所等整備(2施設)

※市から大分県農林水産研究指導センター林業研究部(市内有田)へ、R2年度に大径材の利活用について課題提案し、R3年度以降に当該課題の調査研究が実施される予定



## ②日田材の需要拡大・販売体制の強化 (つづき)

### 【R3年度】 ・ 林業成長産業化地域創出モデル事業 (再掲) 10,000

(大径材の需要促進と地域の主力である無垢材の供給強化)

⇒大径材を利用した心去材の乾燥試験と需要に応じた販売調査検討のほか、当該心去材を利用した高品質な外構材の開発検討など

- 木材製品のイノベーション推進・需要創造
- 公共建築物等における木造化・木質化の推進

### 【R2年度実績】 ・ 公共建築物等地域材利用状況

⇒振興局など12施設 地域材利用材積 176.6m<sup>3</sup>

・ 前津江振興局庁舎(木造新築：譲与税15,000千円活用)

### ・ 地域材ブランド化事業 150 (1社の新規取得)

⇒国際認証であるSGECのCoC認証の取得費用等を助成

### ・ 林業成長産業化地域創出モデル事業 (再掲) 2,805

(多様な高付加価値商品の開発)

⇒市内小中学校の木製の学習机・椅子の老朽化に伴い、新たなデザイン・性能による更新に向け、試作品を開発 (~R3まで)



前津江振興局



【重点施策】



## ③森林資源の有効活用の推進（山業の推進）

- 未利用森林資源等の有効活用の推進 ● 特用林産物の振興

## 【R2年度実績】 ・ 市有林活用モデル事業（再掲） 25,249

⇒早生樹・広葉樹の育成のモデル林等の整備

## ・ しいたけ生産後継者育成事業（機械導入等） 4,223

⇒新規参入者機械導入助成 3名、種駒助成 9名、ファーマーズスクール 2名

## ・ しいたけ生産活性化総合対策事業（施設整備等） 3,805

⇒作業路整備助成 延長1,600m 施設整備等助成 6件



「しいたけもりりん」

・ 優良竹林化整備事業（**新**竹粉碎機購入） 3,238 （譲与税）

## ・ 市有林をワサビ圃場として貸出

⇒1.60ha、12名に貸出（R3.3.31現在）

## 【R3年度】 ・ 優良竹林化整備事業（タケノコ生産用竹林整備等） 3,618



## ○施策体系別目標値（森林を活かす）

指標名	基準値 (R元年度(次))	2年度(次) 上段:実績 (下段:目標)	3年度(次)	4年度(次)	目標値 (令和5年)	備考
1 素材生産量	288,598m <sup>3</sup> (H30年次)	<b>306,774m<sup>3</sup></b> (396,000m <sup>3</sup> )	402,000m <sup>3</sup>	408,000m <sup>3</sup>	<b>414,000m<sup>3</sup></b>	単年度
2 除間伐面積	388ha	<b>504.39ha</b> (430ha)	430ha	430ha	<b>430ha</b>	単年度
3 木材製造品出荷額 (家具製品は除く)	16,851百万円 (H29年次)	<b>16,843百万円</b> (16,447百万円)	16,477百万円	16,507百万円	<b>16,537百万円</b>	単年度
4 乾燥木材生産量 (大分方式認証工場分)	102,423m <sup>3</sup>	<b>98,137m<sup>3</sup></b> (105,400m <sup>3</sup> )	108,500m <sup>3</sup>	111,700m <sup>3</sup>	<b>115,000m<sup>3</sup></b>	単年度
5 乾しいたけ生産量	116.3t	<b>90.6t</b> (100t)	100t	100t	<b>100t</b>	単年度
6 生しいたけ生産量	94.5t	<b>80.6t</b> (95t)	95t	95t	<b>95t</b>	単年度

## ○指標以外の目標

海外出荷や都市圏の顧客開拓への支援	関係機関との連携強化
関係機関と連携し、公共施設や公益性の高い民間施設の木造木質化の推進	森林環境譲与税等活用



## (3) 森林(もり) でつながる

- ①市民の森林・林業・木材産業への関心・理解、保全活動推進
  - 森林環境教育による市民意識の醸成
  - 市民参加による森林保全活動の推進

### 【R2年度実績】

- ・市民参加の森づくり事業（植樹祭の開催） 【重点施策】
- ・木と暮らしのフェア

⇒上記2事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止



森林(もり)の木箱

- ・木育推進事業（**新**新生児へ記(木)念品の贈呈） 【重点施策】

2,634

⇒新生児の生まれた市内の家庭に木念品(記念品)を作成し配布 （譲与税）

- ・森林(もり)の木箱、トートバッグ製作500セット

### 【R3年度】

日田の森林・木材  
～活用の勉強と実践～



- ・森林サービスの創出に向けた市民参加の講座開催 1,000 （譲与税）

⇒主催：日田地域林業・木材産業活性化協議会

- ・日田の森林・木材活用の勉強と実践講座開催 800 （まちづくり  
推進課予算）

⇒主催：NPO法人 木林の森を守るネットワーク（日田市市民サービス協働事業活用）

本企画「持続可能な森づくり」は、11月10日(木)13時～15時、11月17日(木)13時～15時、11月24日(木)13時～15時の3回実施します。  
本企画「木林の森を守る」は、11月10日(木)13時～15時、11月17日(木)13時～15時の2回実施します。  
本企画「五穀作り」は、11月10日(木)13時～15時、11月17日(木)13時～15時の2回実施します。  
上記3回の実施とは別に、研修でのワークショップも実施予定です。  
※参加費(研修費)は別途、研修費(教材)は別途、定額220円、定額100円(研修費)です。  
※本企画は、日田市環境文化センター(日田市)で開催します。詳細は、環境文化センター(日田市)までお問い合わせください。  
お問い合わせ先：環境文化センター(日田市) 電話：0961-32-1111(受付時間：平日9時～17時) 又は、環境文化センター(日田市)までお問い合わせください。



## ②森林資源を活用した地域の活性化（山業の推進）

- 地域資源を活用した産業観光の振興
- 市民が集える森林空間の整備
- 域内外への情報発信強化

### 【R2年度実績】

・ 200海里の森林づくり事業 188 (まちづくり推進課予算)

⇒筑後川上流(中津江村)の森林づくり(下刈・植栽)を下流域の都市住民(福岡県)と共に行い、水源地域の森林の大切さを再認識し、森林整備に対する意識の高揚を図るもの。



トレイル駅伝

・ 産業観光推進事業 (H29～ひたりずむ) 879 (観光課予算)

⇒林業・木材産業等を観光資源として市観光課や市内21の事業所と連携。新型コロナの影響で見学者が大きく減少したが、新規に教育(修学)旅行の受入れが増加傾向にある。

### 【重点施策】



### 【R3年度】

・ 天領日田トレイル駅伝開催 (H30～) 700

⇒萩尾公園内の遊歩道を活用したトレイルコース(案内・誘導サイン整備有)において、天領日田トレイル駅伝を実施  
(R元年:約130名参加、R2年:新型コロナ感染防止のため中止)



### ③森林・林業・木材産業を支える担い手の確保・育成

- 担い手の確保・育成
- 地域リーダーの育成

#### 【R2年度実績】 ・豊かな森づくり担い手育成事業 15,153

⇒林業事業体職員の福利厚生・共済掛金等の助成

#### ・豊かな森づくり担い手育成事業(林業労働者安全対策助成) 2,042

⇒チェーンソー防護衣・安全靴、空調服、無線機等への購入助成 (譲与税)

#### ・木造建築推進セミナーの開催 【重点施策】

⇒主催：日田木材協同組合(新型コロナ拡大防止のため、中止)

#### 【R3年度】



アカデミー研修

#### ・ひた林業就業体験ツアー事業(隔年実施) 589

⇒林業に興味があり就業を希望する方を対象に、林業の仕事体験や原木市場・製材所見学を行う2日間のツアーを開催し、林業への新たな就業につなげる。

#### ・豊かな森づくり担い手育成事業(アカデミー研修助成) 1,125

⇒「おおいた林業アカデミー」研修生への助成 (譲与税)

#### ・森林の仕事ガイダンス(11/20(土)日田会場：(公財)森林ネットおおいた主催)

⇒林業の就業相談会(10社程度参加予定)



## ○施策体系別目標値（森林でつながる）

指標名	基準値 (R元年度(次))	2年度(次) 上段:実績 (下段:目標)	3年度(次)	4年度(次)	目標値 (令和5年)	備考
1 産業観光年間視察団体数 (上段:ツアー型、下段:単独型)	9団体 312人	<b>1団体:35人</b> (3団体:150人)	5団体 200人	7団体 250人	<b>10団体</b> <b>350人</b>	単年度
2 森林づくり大会参加者数	201人	<b>0人</b> (240人)	240人	240人	<b>240人</b>	単年度
3 SNS読者数(Facebook フォロワー数)	495人	<b>527人</b> (505人)	515人	525人	<b>535人</b>	累計
4 認定林業事業体数	23事業体	<b>24事業体</b> (24事業体)	24事業体	25事業体	<b>25事業体</b>	累計
5 新規林業就業者数	20人	<b>25人</b> (20人)	20人	20人	<b>20人</b>	単年度

## ○指標以外の目標

新規林業就業者確保を目的とした支援制度	林業アカデミー受講支援
林業就業者への雇用安定対策の検討	森林環境譲与税等活用

【参考】令和元年度、令和2年度森林環境譲与税を財源とした事業一覧

年度	事業名	譲与税充当額	使途区分
令和元年度 (決算)	1、森林経営管理推進事業 4、林道巡視維持改善事業 8、豊かな森づくり担い手育成事業 9、日田材普及啓発事業 11、公共建築物の木造・木質化 ■令和元年度森林環境譲与税額：82,965千円	43,163千円	①森林整備 ③木材利用の促進 (留保額：39,802千円)
令和2年度 (予算)	1、森林経営管理推進事業	32,667千円	①森林整備
	2、森林整備総合対策事業	35,000千円	①森林整備
	3、森林機能強化対策事業	5,148千円	①森林整備
	4、林道巡視維持改善事業	3,525千円	①森林整備
	5、林道維持補修事業	15,000千円	①森林整備
	6、林道作業道補修用原材料支給事業	28,000千円	①森林整備
	7、優良竹林化整備事業	4,211千円	①森林整備
	8、豊かな森づくり担い手育成事業	4,671千円	②人材育成・担い手確保
	9、日田材普及啓発事業	2,384千円	③木材利用の促進
	10、木の香るまちづくり事業	3,740千円	③木材利用の促進
	11、公共建築物の木造・木質化 (→対象：前津江振興局新築、三隈川公園ウッドデッキ改修)	17,700千円	③木材利用の促進
	12、木育推進事業	2,874千円	④普及啓発
	13、市民参加の森づくり事業	コロナで中止	④普及啓発
	14、森林・林業・木材産業に関する市民参加講座の実施 ■令和2年度森林環境譲与税額：176,292千円	小計：154,920千円	(留保額：21,372千円)
累計	■令和元～2年度森林環境譲与税額：259,257千円	合計：198,083千円	留保額：61,174千円 →森林整備、木材利用に活用

【参考】令和3年度森林環境譲与税を財源とした事業一覧（当初予算）

番号	事業名	譲与税充当額	使途区分
1	森林経営管理推進事業	46,882千円	①森林整備
2	森林整備総合対策事業	45,000千円	①森林整備
3	森林機能強化対策事業	5,200千円	①森林整備
4	林道巡視維持改善事業	3,550千円	①森林整備
5	林道維持補修事業	15,000千円	①森林整備
6	林道作業道補修用原材料支給事業	28,000千円	①森林整備
7	豊かな森づくり担い手育成事業	4,671千円	②人材育成・担い手確保
8	日田材普及啓発事業	5,960千円	③木材利用の促進
9	木の香るまちづくり事業	3,740千円	③木材利用の促進
10	市民参加の森づくり事業	639千円	④普及啓発
11	木育推進事業	2,874千円	④普及啓発
12	森林・林業・木材産業に関する市民参加イベント・講座	2,000千円	④普及啓発
	■令和3年度森林環境譲与税額：176,292千円	小計：163,516千円	（留保額：12,776千円）
累計	■令和元～3年度森林環境譲与税額：435,549千円	合計：361,599千円	留保額：73,950千円 →森林整備、木材利用に活用